

筑前海のJFシェルナース

福岡県は筑前海、豊前海、有明海の3つの海を有し、多種多様な水産物が水揚げされています。本号ではそのうち筑前海（響灘、玄界灘）における調査事例を中心にご紹介いたします♪

1年目の増殖礁に多くの魚が乱舞

場所：福岡市奈多沖 水深 14～20m
機種：シェルナース 1.5型、2.0型

福岡市の西に位置する奈多沖の増殖場では、設置から9カ月のJFシェルナースに多種多様な魚が集まる様子が観察できました。

貝殻基質には魚にとってのご馳走となる小さなエビ・カニ類も多く見られ、設置からわずかの間に高い増殖効果が発揮されていることがわかりました♪



【確認された主な魚種】

マダイ、メバル、ウスメバル、カサゴ、オニオコゼ、キジハタ、マハタ、クエ、マアジ、イシダイ、カワハギ、ウマヅラハギ、マアナゴ、ヒラメ、マコガレイなど

魚礁・藻場としても活躍！

その他、筑前海では2002年度より様々な箇所にJFシェルナースが設置されており、高い魚礁効果や藻場の繁茂が確認されています。



県内貝殻の有効活用

福岡県内では、福岡市、糸島市の漁業者の皆様にご協力いただき、貝殻基質を製作していただきました。

漁業者からは、「貝殻の有効利用ができる」「小さな魚の隠れ場や餌場として役立ちそう」「漁場造成が必要」という期待が込められたご意見をいただきました。



熱心に説明に聞き入る漁業者

JF福岡ぎょれん 担当者